



6日、パリでグルマン世界料理本大賞の「食の紀行部門」グランプリを受賞した有元葉子さん(右)と編集者の山本浩史さん(共同)

有元葉子さん グランプリ

【パリ共同】世界の料理本を顕彰する「グルマン世界料理本大賞」の授賞式が6日、パリの劇場で行われ、料理研究家の有元葉子さんの著作「料理は食材探しから」が「食の紀行部門」でグランプリを受賞した。また南里空海さんの「神饌 神様の食事から食の原点を見つめる」が「食の歴史部門」で3位になった。

世界料理本大賞「紀行部門」

訪ね歩いてまとめた。「シンプルな料理をおいしくいたたこうと思つたら、食材が良くないと駄目。取材先の人々がそれぞれ素晴らしかった」と受賞の喜びを語った。

◇ 有元さんは2003年、都内やイタリヤの住まいに加え、上水内郡信濃町に家を建てた。04年6月、07年3月には、本紙くらし面で「和根洋菜」を連載、野菜をふんだんに使った料理を紹介した。